

# 10月医療の安全ニュース

2017年10月12日 あおもり協立病院 医療安全管理室

10月4・6日看護部教育委員会と共催で「ケアにいかす！！高齢者の特徴を踏まえたコミュニケーション」について学習会を開催しました

高齢者に骨折はなぜ起きやすい？ それは・・・加齢に伴う身体・認知機能の変化があるから

## 高齢者の特徴（学習会資料より抜粋）

- ・視野が狭くなり、眩しく（明るいところでは眩しさが増す）かすんで見える
- ・「小さい声は聞こえにくい」、「聞き間違いが多くなる」高音域がききとりにくい
- ・骨粗鬆症や円背
- ・関節液が減り軟骨がすり減る変形性関節症・関節可動域の減少
- ・筋力や持久力の低下、反射的防御がとりにくい、バランスがとりにくい
- ・認知・判断のスピード低下、記銘力低下（大脳皮質の変化により）
- ・ストレスで内分泌・免疫に影響（間脳の変化により）

電灯より太陽の光の  
ほうが眩しい



## なぜコミュニケーションは大事か？

緊張を和らげる

患者さんは検査や治療など慣れない環境で緊張している

精神的に支える

不安を表出できる

まずは目線の高さを合わせ、  
自己紹介・挨拶から

## 触れるケアの作用⇒副交感神経を優位に

身体のリラクゼーション・不安や恐れ、孤独からの解放の効果がある

高齢者とのコミュニケーションは身体機能の変化、高齢者の人生・生活背景を踏まえたコミュニケーションが必要

触れながら関わることで、「信頼関係構築」「穏やかな心身」につながる

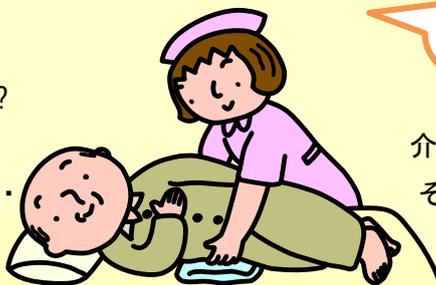
声のトーンや速さは？  
びっくりしていないか？

きちんと伝わった？

患者さんの様子や反応をうかがいながら・・・

工藤さん。体の向きをかえましょう。

介助者が視界に入っているかしら  
そっと体にふれながら。



穏やかな心身と生活の状況を作る  
ことが骨折予防のカギ